

Amir Tsarfati 氏 中東情勢ダイジェスト 2018年 5月 30日公開

.....
【ビホールド イスラエル フェイスブックページより 引用】

読んで、シェアしてください:

彼らが、「自分達は、平和なデモをしたいだけだ」と世を説き伏せる事に失敗した後、ハマスとイスラム聖戦の本性が現れた。

24時間近くの間、彼らは、ガザ地区近くのイスラエル人の町や村に、ロケットや迫撃砲をノンストップで発射し続けた。

国連は非難せず、激昂するヨーロッパもなければ、セレブ達の黙祷もない。

イスラエルの一般市民を攻撃する事は許されており、彼らの攻撃に報復する事は許されない。

神に感謝な事に、我々サイドのダメージや死者は報告されていない。

しかしながら、パレスチナは、彼ら自身の町に送電する3つの主要電線を、自分達のロケットで破壊した。

現在、停電中なのは、彼らの方である。

“ああ、哀れな私よ。メシエクに寄留し、ケダルの天幕で暮らすとは。

私は、久しく、平和を憎む者とともに住んでいた。

私は平和を——、私が話すと、彼らは戦いを望むのだ。

詩篇 120-5-7”

<http://beholdisrael.org>